

4 - 1 6 伊豆半島の重力変化 Gravity Change in the Izu Peninsula

東京大学地震研究所 測地移動班，地球計測部門
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

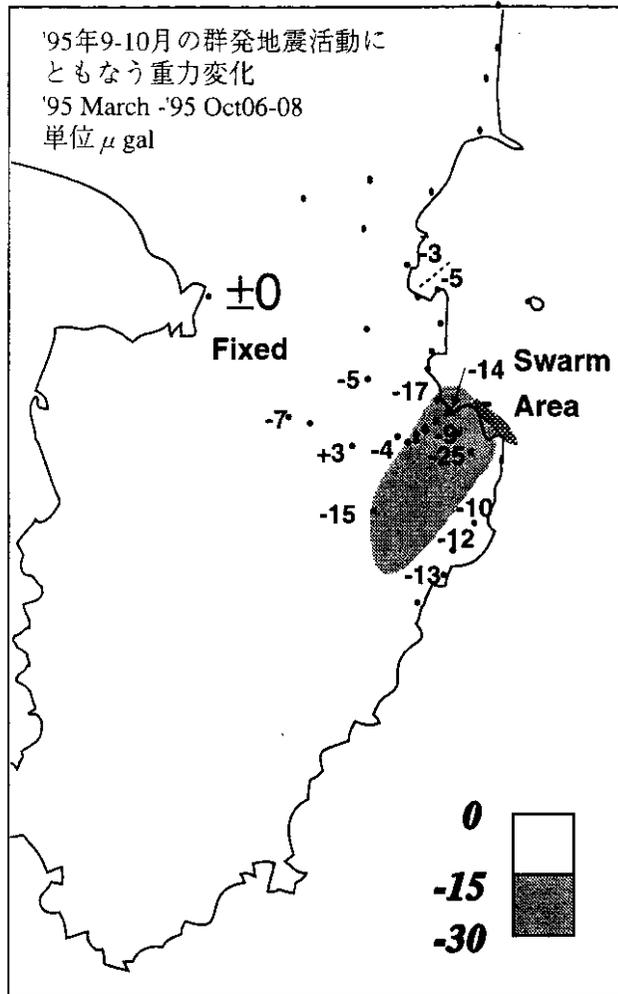
同一重力計による繰り返し測量の結果を下図に示す。いずれもBM - 9402 (沼津市)を不動と仮定し，網平均した結果である。測定機材はスケール誤差，周期誤差，地磁気方位誤差等を補正済みのラコステ重力計である。測定精度は10ないし15 μ galと見積もっている。

1995年9月 - 10月に発生した群発地震に対応して顕著な重力減少が認められた(第1図a)。これは1989年の海底噴火の際の変動量(第1図b；最大で-34 μ galであった)の約70パーセント程度に相当する。

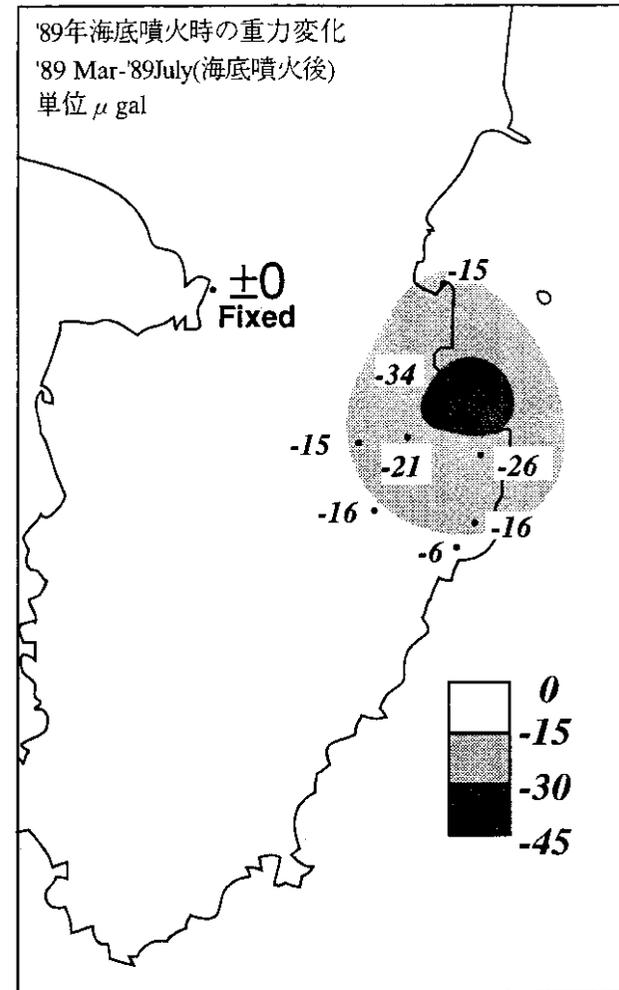
参 考 文 献

- 1) Okubo, S., Y. Hirata, M. Sawada, and K. Nagasawa, 1991, Gravity change caused by the 1989 earthquake swarm and submarine eruption off Ito, Japan-test on the magma intrusion Hypothesis-, J. Phys. Earth, **39**, 219-230.

(a)



(b)



第1図 伊豆半島の重力時間変化

Fig. 1 Gravity Changes in the Izu Peninsula.